

タイトル 「東日本大震災（続編）－ 宮城県の発災 6 か月後から半年間の災害対応とその検証－」について

1 趣旨・目的

県における特に初動期の対応を取りまとめた「東日本大震災－宮城県の 6 か月間の災害対応とその検証－（平成 24 年 3 月刊行，以下「前半 6 か月間の検証」という。）」の続編として，対象期間を主に発災 6 か月後から災害対策本部廃止までの半年間の検証記録誌を作成し，東日本大震災の初動期から応急復旧を経て，復興に向け歩み始めた，約 1 年間を通じた災害対策の実施状況を記録・検証することにより，今後の危機管理体制の充実強化を図るための基礎資料として活用することを目的とする。

なお，検証事項は外部機関（NK S J リスクマネジメント（株）^{エヌケーエスジエー}）の協力を得て提言として取りまとめた。

2 調査対象，調査対象期間

- 災害対応に当たった宮城県職員
- 平成 23 年 9 月から平成 24 年 3 月

3 内容

（本編）

- 宮城県の応急・復旧対応の記録，外部機関による検証事項の提言（「前半 6 か月間の検証」の継続）
- 発災時の県災害対策本部員コラム及び本部連絡員意見交換会の掲載（新規）
- 「前半 6 か月間の検証」提言事項への対応状況（新規）

（資料集）

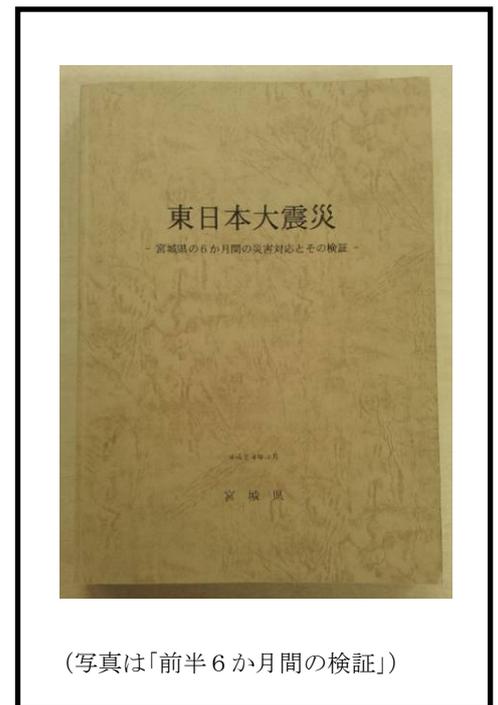
- 県災害対策本部会議（全 95 回）要旨（新規）
- 県災害対策本部及び関係機関の対応状況（新規）

4 記録誌の発行形態

- 一部カラー印刷 520 ページ程度 1000 部印刷

5 配布先

- 県内市町村，国，都道府県，その他防災関係機関等に配布
- 宮城県ホームページで公表



（写真は「前半 6 か月間の検証」）